

Rotary 

国際ロータリー
第2620地区

御殿場
ロータリー
クラブ **週報**



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

第2812回 例会プログラム

- 例会場／東山荘講堂
- 開会点鐘／12：30
- ロータリーソング／我らの生業
- 内容／地区大会報告
プログラム委員会



会員慶事

- 会員誕生日／1月22日 永木栄太君
1月25日 大胡田明寿君
1月26日 山崎伊久雄君
1月26日 勝又安彦君
- 夫人誕生日／田代明人君 ご夫人 知子様

会長挨拶

豊山 篤



あけましておめでとうございます。
令和8年の1年間、せめて6月までのあと半年間のお付き合い、よろしくお願い申し上げます。
新年を迎え改めて思いますには、私の人生にとってロータリー会長の1年間は激動の1年であることに間違いありません。前半の半年がどうか過ぎましたが、それなりにいろいろなことがあった半年でした。会長職としての当然の職務がほとんどですが、予想だにしないこともありました。
しかし、幹事・会計のおふたりを始め会員皆様のご協力の下、ひとつずつこなしていく中で、時には頭の中がこんがらがることもあります。徐々にですが確実にこの職務を楽しんでいる自分がいます。始まるまでには思いもよらないことです。
ですから、渡辺修司君、安心して会長エレクトをお

楽しみください。私が保証いたします。

令和6年度からの萩原神社氏子総代のお勤めや昨年のお伊勢参り等で徐々に穢れも削がれ、心身共に清らかなる自分を感じております。残りの半年も、御殿場ロータリークラブ及び会長職に対し、真摯に向き合いながらも精一杯楽しんで努めて参りたいと思います。

改めまして、ご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて本日は新年会（新会員歓迎会・年男大いに語る）です。

まずは本年度前期に入会されました、林泰博君・鬼形慎太郎君、改めまして末永くよろしくお願い申し上げます。

今年の干支は午年です。細かく言うと干支は十干と十二支で決まるそうですが、十干は「形あるもの」ではなく「性質・状態」を表すため、精神的・抽象的のものであるのに対し、十二支は動物の具体的なイメージで表されるので、個性が出やすいのではないかと思います。

勝又博文君・山崎伊久雄君・梶喜朗君、お三方の卓話を楽しみにしております。



会長挨拶はこちら

1/8の出席報告

欠席者(8名)

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
53名	48名	40名	83.33%	100%

池上 司君 梶 喜朗君 森田義彦君
根上眞一君 嶋田康一君 鈴木栄一君
田代明人君 山内 剛君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

12/11の
メー
キャップ

10月23日	フードバンク	長島和彦君
11月1日	オープンハウス	勝間田太住君
12月5日	せせらぎ三島	長田富夫君
12月9日	北海道Eクラブ	山内 剛君
12月18日	北海道Eクラブ	神谷高義君



司 会
鎌野篤志君



出席報告
高橋隆造君



ソングリーダー
勝亦敦志君



よいことのために
手を取りあおう

次回
1月29日の
例会

★東山荘講堂 ★12:30
★60周年実行委員会
石川実行委員長

新年会・新会員歓迎会



年男大いに語る



山崎伊久雄君

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

今年は西暦2026年、日本的には令和8年の午年です。しかも60年に1回の丙午年にあたります。この丙午年に生まれた

女性は「気が強く夫の寿命を縮める」と江戸時代から迷信で言われていますが、本来は「丙」も「午」も共に火の力を表すものであり、その火の力が重なって「真夏の太陽」「情熱的で力強いエネルギー」「あふれる生命力」と「発展」を象徴する「勢いのある良い年」の意味だそうです。従って今年はロータリークラブ並びに私どもにとっても良い年になること間違いのないと思います。

私は2002年（平成14年）5月23日に斎藤衛君、澁谷一君と一緒に入会させていただきました。当時私は御殿場に帰ってきて余り日にちが経っていないとき、鈴木崇司さんにお会いしました。そのときロータリーに入らないかと言われ、私も永らく御殿場を離れていたもので、出来ることは何でもやりますと返事をしました。そして2-3日したとき内海宣彦さんが突然来られてロータリーについて2時間程度懇切丁寧に説明を受けました。そこで、もう逃げられないと観念し入会しました。ちなみに私のスポンサーは山口幸男君（さん）と内海宣彦さんです。なぜか鈴木崇司さんではありませんでした。

私もロータリーに入って24年になります。入った当初はロータリーについての勉強は酒を飲みながら教わったような気がします。良く飲ませていただきました。

今回、年男大いに語るは2回目です。前回頂いた白梅の鉢植えも元気に花をさかせようとしています。今年84歳になります。昨年10月から家以外では酒を飲むことをやめました。しかし酒の席へはできるだけ参加しようと思っています。又ゴルフについても80歳を境にドライバーは飛ばなくなり、アイアンも思うように当たらなくなりましたが、運動不足を補うためにも時間の許す限り、体が耐えられる間は出来るだけ参加したいと考

えています。

最後にこの1年が飛躍の年になりますことを祈念して、年男大いに語るの卓話を終了とします。御清聴ありがとうございました。

2026年1月8日例会にて



勝又博文君

72歳の年男を迎えて思うこと

クラブ会員の皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

2026年は60年に1度の「丙午（ひのえうま）」の年で、物事が一気に動き出し、新しい流れが生まれる、エネルギーに満ちた年になると言われております。躍動的な1年になるのではと予想されます

私は今年72歳を迎えます。男性の平均寿命は、81歳だそうです。平均寿命まで生きるとすると、残された制限時間は9年ということになります。今まで、第一線で、時間に追われ、使命感を持って必死に仕事に励んでまいりました。それは、競争、コスト、効率、売上、タイムパフォーマンス等を最優先する世界でした。

今、第一線から退いた私には、違った世界が見えてきました。追われることなく、ゆったりとした時間が流れているように感じます。そして、日々の生活で感じる「小さな幸せ」に目を向けるようになりました。丁寧に入れた美味しいお茶を、ゆっくり味わいながら飲む喜び。窓から差し込む暖かな日差しを感じる瞬間の心地よさ。街中の街路樹の変化に季節の移ろいを感じる時の小さな喜び。妻との何気ない会話に感じる思いやりのある温かい言葉。幼児の小さな手足をさわったときの驚くほど柔らかい感触など。適度の運動とバランスの取れた食事、十分な睡眠など健康的な生活を心掛け、自分の好きなことに貴重な時間を使うように努めます。

この1年は、残り少なくなった貴重な時間を大切に、日常の中にある「小さな幸せ、幸せな瞬間」を意識的に見つけて、たくさんの方の幸せを感じ取れるよう心がけてみようと思っています。